

2019年3月期 第2四半期

決算補足説明資料

2018年11月13日

三櫻工業株式会社

(証券コード：6584 東証一部)

- **2019年3月期 第2四半期 連結損益状況**
- **2019年3月期 第2四半期 決算のトピックス**
- **2019年3月期 第2四半期 セグメント別実績**
- **2019年3月期 第2四半期 連結財務状況：対前期末**
- **2019年3月期 第2四半期 連結キャッシュ・フローの状況**
- **2019年3月期 通期業績見込み**

2019年3月期 第2四半期 連結損益状況



	2018年3月期 第2四半期 実績		2019年3月期 第2四半期 実績				2019年3月期 当初上期予想	
	金額 (百万円)	売上高比 (%)	金額 (百万円)	売上高比 (%)	対前年同期		金額 (百万円)	達成率 (%)
					増減額 (百万円)	増減率 (%)		
売上高	68,349	100.0	69,986	100.0	+1,637	+ 2.4	70,600	99.1
営業利益	2,997	4.4	2,502	3.6	▲495	▲ 16.5	2,500	100.1
経常利益	3,149	4.6	2,161	3.1	▲988	▲ 31.4	2,300	94.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,963	2.9	800	1.1	▲1,162	▲ 59.2	700	114.3

●2019年3月期 第2四半期 業績のトピックス (対前期)

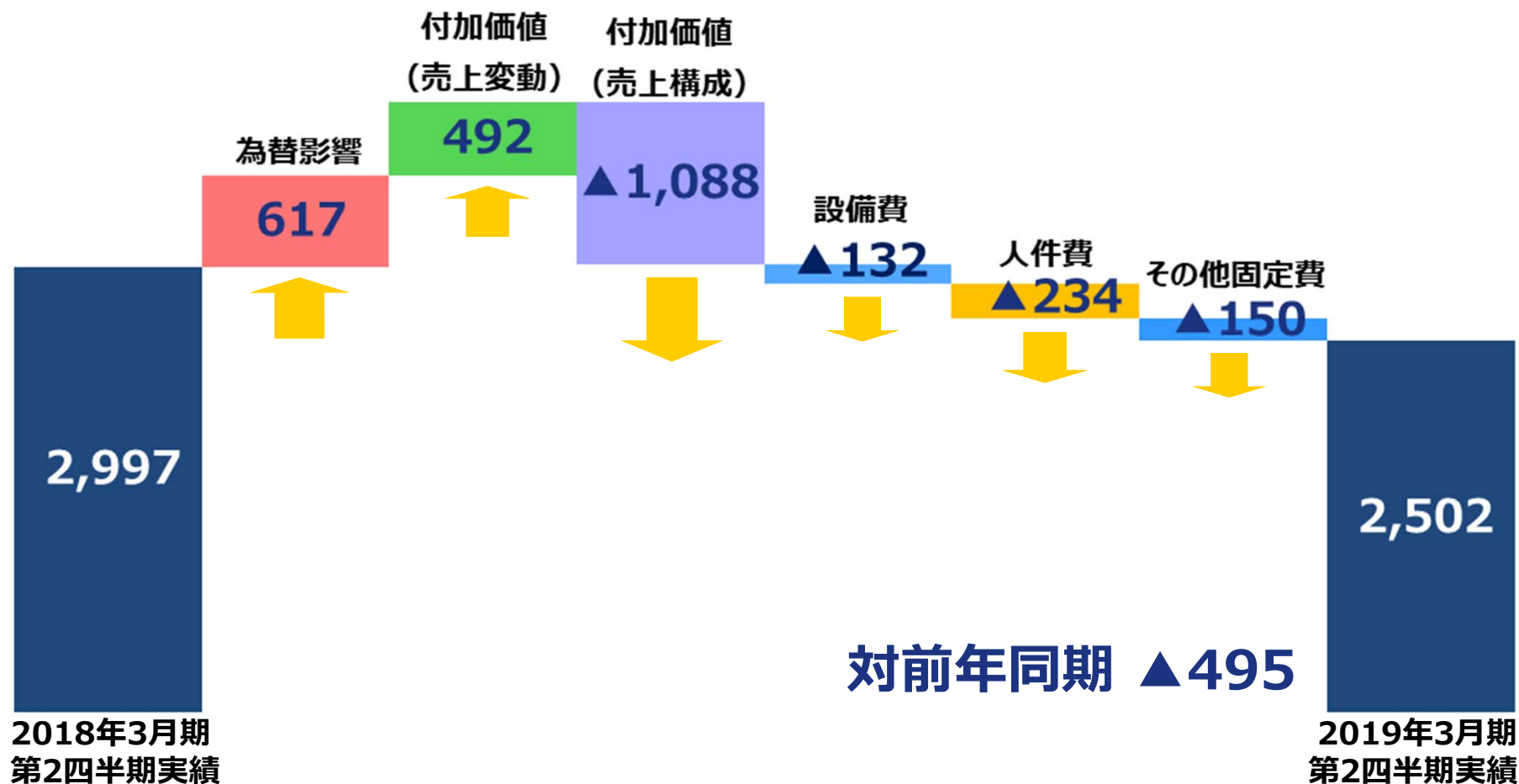
- 売上高：北南米の大幅減収もタイの子会社を中心とするアジア及び中国等の他地域の増収が寄与し、全体で+1,637の増収。
- 営業利益：材料費の上昇及び人件費等固定費の上昇により北南米及び欧州で減益となり、全体で▲495の減益。
- 経常利益：営業利益の減益に加え、為替差損が発生し▲988の減益。
- 純利益：日本および中国子会社の固定資産の減損損失により全体で▲1,162の減益。

●為替の状況

損益換算レート (単位：円)	2018年3月期 第2四半期 平均レート	2019年3月期 第2四半期 平均レート	変動率	当初上期 予想レート
ドル	112.4	108.7	▲3%	105.0
ユーロ	121.6	131.6	+8%	130.0
メキシコペソ	5.8	5.7	▲1%	5.7
人民元	16.4	17.1	+4%	16.9
インドルピー	1.7	1.6	▲7%	1.6
タイバーツ	3.2	3.4	+6%	3.4
ロシアルーブル	1.9	1.8	▲5%	1.9
ブラジルレアル	35.4	31.9	▲10%	32.7

● 営業利益要因別増減分析：対前年同期

(単位：百万円)



- ▶ 付加価値の減少：日本と北南米の材料費上昇に加え、欧州の立ち上げ費用の増加による減少
- ▶ 人件費の増加：欧州の立ち上げ費用の増加に加え、アジアの生産量増大に伴い増加

2019年3月期 第2四半期 決算のトピックス



(増減額の符号は対利益符号)

連 結	2018年3月期 第2四半期 実績	2019年3月期 第2四半期 実績		2019年3月期 [*] 通期予想		主な増減要因 (金額は百万円)		
		金額 (百万円)	金額 (百万円)	対前年同期			金額 (百万円)	達成率 (%)
				増減額 (百万円)	増減率 (%)			
営業利益	2,997	2,502	▲ 495	▲ 16.5	4,300	58.2		
営業外 損益	営業外収益	408	240	▲ 168	-	-	-	為替差益の減少 ▲192
	営業外費用	257	581	▲ 325	-	-	-	為替差損の増加 ▲142 その他の増加 ▲164
経常利益	3,149	2,161	▲ 988	▲ 31.4	3,600	60.0		
特別利益	19	2	▲ 18	-	-	-		
特別損失	85	341	▲ 257	-	-	-	減損損失の増加 ▲268 (日本 ▲188、中国 ▲79)	
税引前利益	3,084	1,822	▲ 1,262	▲ 40.9	-	-		
法人税等	790	549	+ 241	-	-	-		
非支配株主利益	331	473	▲ 141	-	-	-		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,963	800	▲ 1,162	▲ 59.2	800	100.0		

*当初予想（2018年5月14日発表値）に、欧州及び北南米の下振れ要素を織り込んだ2018年11月13日に公表した修正予想値

2019年3月期 第2四半期 セグメント別実績



(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	対前年同期 増減	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	対前年同期 増減
	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)
日本	25,745	26,569	+824	259	391	+133
北南米	23,493	22,281	▲1,212	1,616	1,130	▲485
欧州	12,041	12,729	+688	▲28	▲260	▲232
中国	7,375	8,336	+961	184	178	▲6
アジア	10,256	11,504	+1,248	1,032	1,045	+12
連結調整	▲10,561	▲11,433	▲873	▲65	18	+83
合計	68,349	69,986	+1,637	2,997	2,502	▲495

● 2019年3月期 第2四半期 の地域別業績のトピックス (対前年同期比)

- ▶ 日本 : 増収に加え退職給付費用の減少等により増益。
- ▶ 北南米: 主にメキシコ子会社の減収及び材料費の上昇等により減収減益。
- ▶ 欧州 : 新規立上げに伴う生産量の増加により増収も、立上げ費用の増加により減益。
- ▶ 中国 : 客先生産台数の増加や新規立上りにより増収となったが、人件費等の上昇により前年同期並みの営業利益となった。
- ▶ アジア: 日系メーカーの生産量増大によりタイ子会社の売上が増加したが、同子会社の固定費の増加により前年同期並みの営業利益となった。

2019年3月期 第2四半期 連結財務状況：対前期末

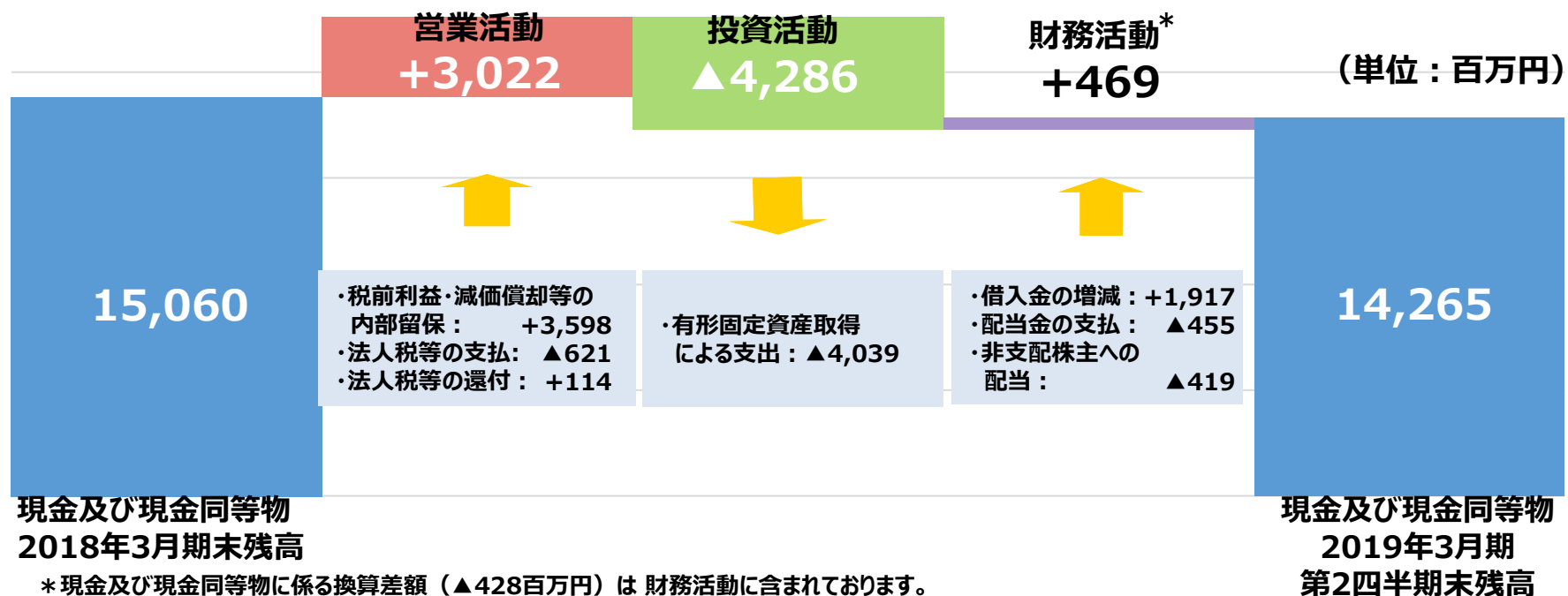


連 結		2018年3月期末		2019年3月期 第2四半期末			
		実績 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	対前期末増減額 (百万円)	主な増減要因 (金額は百万円)
資 産	流動資産	58,280	55.2	58,188	54.8	▲ 91	総資産： +553 増加 ①現金及び預金の減少 : ▲ 795 ②受取手形及び売掛金の増加 : + 733 ③棚卸資産の減少 : ▲ 515 ④その他流動資産の増加 : + 582 ⑤投資有価証券の増加 : + 421
	固定資産	47,388	44.8	48,032	45.2	+ 644	
	資産合計	105,667	100.0	106,220	100.0	+ 553	
負 債	流動負債	42,214	39.9	44,800	42.2	+ 2,586	負債総額： +1,754 増加 ①短期借入金の増加 : + 2,787 ②長期借入金の減少 : ▲ 1,152 ③長期未払金の減少 : ▲ 430 ④長期リース債務の増加 : + 701
	固定負債	17,347	16.4	16,515	15.5	▲ 832	
	負債合計	59,561	56.4	61,315	57.7	+ 1,754	
純資産合計		46,107	43.6	44,905	42.3	▲ 1,201	純資産総額： ▲1,201 減少 ①為替換算調整勘定の減少 : ▲ 1,624 ②利益剰余金の増加 : + 345
負債純資産合計		105,667	100.0	106,220	100.0	+ 553	

2019年3月期 第2四半期 連結キャッシュ・フローの状況



● 2019年3月期 第2四半期連結キャッシュ・フローの状況



● 設備投資（連結）の状況

(単位：百万円)

	2018年3月期 第2四半期 実績	2019年3月期 第2四半期	
		実績	対前年同期
設備投資額	5,169	4,039	▲ 1,129
減価償却費	2,737	2,705	▲ 32

上期実績と欧州及び北南米の状況を踏まえて通期予想を修正

	2018年3月期 通期実績	2019年3月期 当初通期 業績予想	前年増減	2019年3月期 今回通期 業績予想	当初差	前年増減
売上高(百万円)	138,724	143,000	+4,276	142,000	▲ 1,000	+3,276
営業利益(百万円) 【営業利益率】	4,297 3.1%	5,300 3.7%	+1,003	4,300 3.0%	▲ 1,000	+3
経常利益(百万円) 【経常利益率】	4,140 3.0%	5,000 3.5%	+860	3,600 2.5%	▲ 1,400	▲ 540
当期純利益(百万円) 【当期純利益率】	4,935 3.6%	1,800 1.3%	▲ 3,135	800 0.6%	▲ 1,000	▲ 4,135
一株あたり純利益(円)	135.60	49.46		21.98		
配当(円)	25.0	25.0		25.0		

・為替レート

2018年度 当初業績予想：1USD = 105.0円 1EUR = 130.0円

2018年度 今回業績予想：1USD = 110.0円 1EUR = 130.0円

連結通期業績予想を修正した要因

- 欧州：新規立上げコストの増加に加え、排気ガス燃費試験法導入の影響による欧州自動車メーカーの乗用車販売台数の減少等により第3四半期以降の売上高の減少が見込まれ、営業利益は当初計画を下回る見込まれる。
- 北南米：メキシコ子会社の北米の乗用車販売台数の減少及び洪水による稼働停止の影響に伴い、売上高の減少が見込まれ、営業利益は当初計画を下回る見通し。

このプレゼンテーションで述べられている三櫻工業株式会社の業績予想、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものです。

マクロ経済や当社の関連する業界の動向、新たな技術の進展等によっては、大きく変化する可能性があります。

従いまして、実際の業績等が本プレゼンテーションと異なるリスクや不確実性がありますことをご了承下さい。また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。